

経営発達支援計画に基づく 経営支援ニーズ・経済動向調査(調査結果)

調査概要

1 調査の目的

高崎商工会議所の「経営発達支援計画」を実践するにあたり、管内商工業者の経営支援に関するニーズや経済動向、当会議所への要望などを把握、分析し、実態に即した経営支援策を講じるための基礎資料を得ることを本調査の目的とする。

2 調査方法

調査対象	高崎市内事業所（地区外含む）
有効回答数	126事業所（無効回答数：18）
調査方法	当所職員による調査票（紙およびGoogleフォーム）の配布・回収
調査期間	令和8年2月2日（月）～2月28日（土）

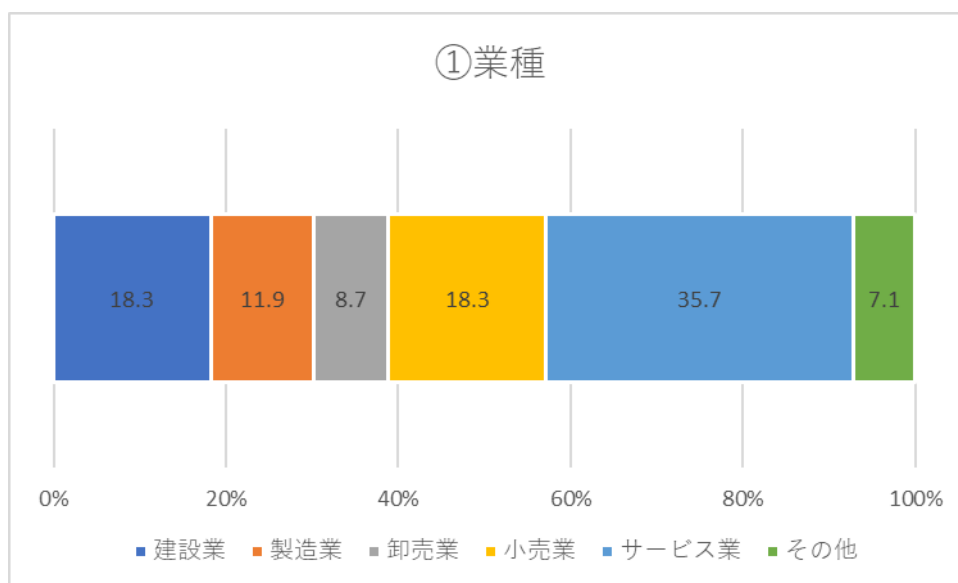
調査結果

1 回答事業所の属性

① 業種

■ サービス業が3割以上、小売業、建設業、製造業が各1割以上

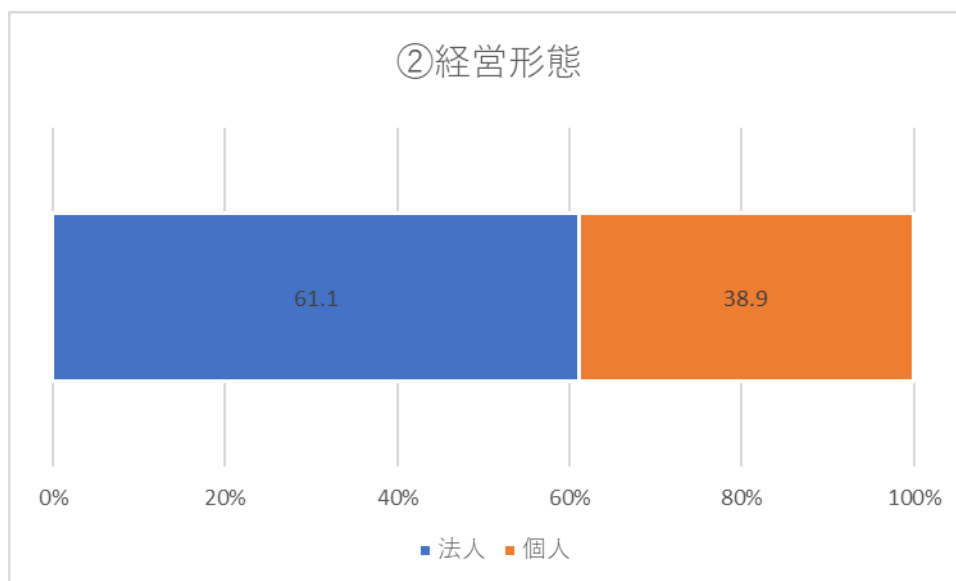
サービス業（35.7%）が3割以上で最も多く、次いで建設業（18.3%）、小売業（18.3%）、製造業（11.9%）、卸売業（8.7%）の順となっている。



② 経営形態

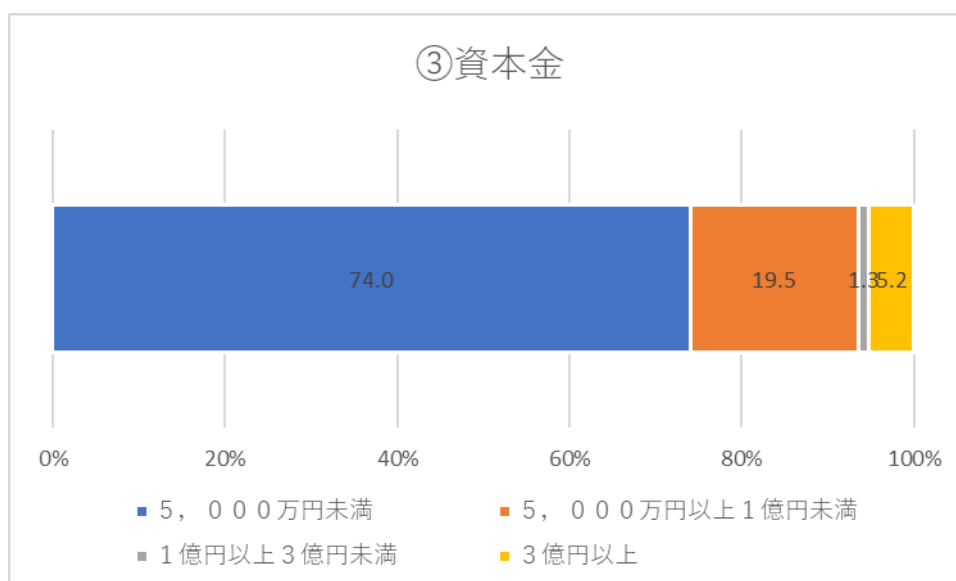
■ 法人が約6割、個人が約4割

法人（61.1%）、個人（38.9%）の割合となっている。



③ 資本金

■ およそ95%が中小企業基本法で定める中小企業者・小規模企業者に該当



④ 本社・本店の所在地

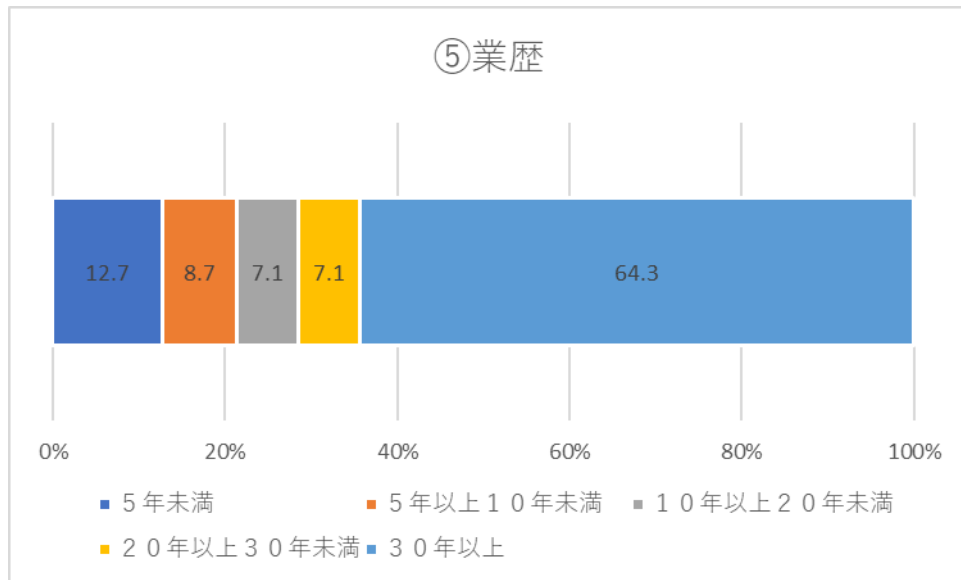
■ 当所管轄内事業所か否か確認のために回答いただいているため割合

⑤ 業歴

■ 業歴30年以上が約6割で最も多い

30年以上（64.3%）が約6割で最も多く、次いで5年未満（12.7%）、5年以上10年未満（8.7%）、10年以上20年未満（7.1%）、20年以上30年未満（7.1%）の順

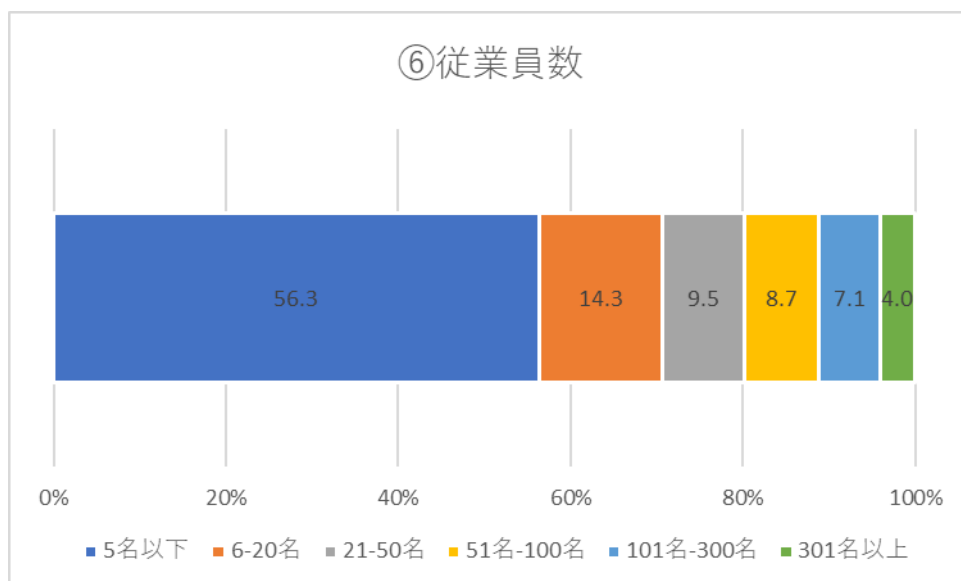
となっており、10年以上（合わせて78.5%）が約8割を占めている。



⑥ 従業員数(役員除く)

■ 正規従業員数5名以下が最も多い

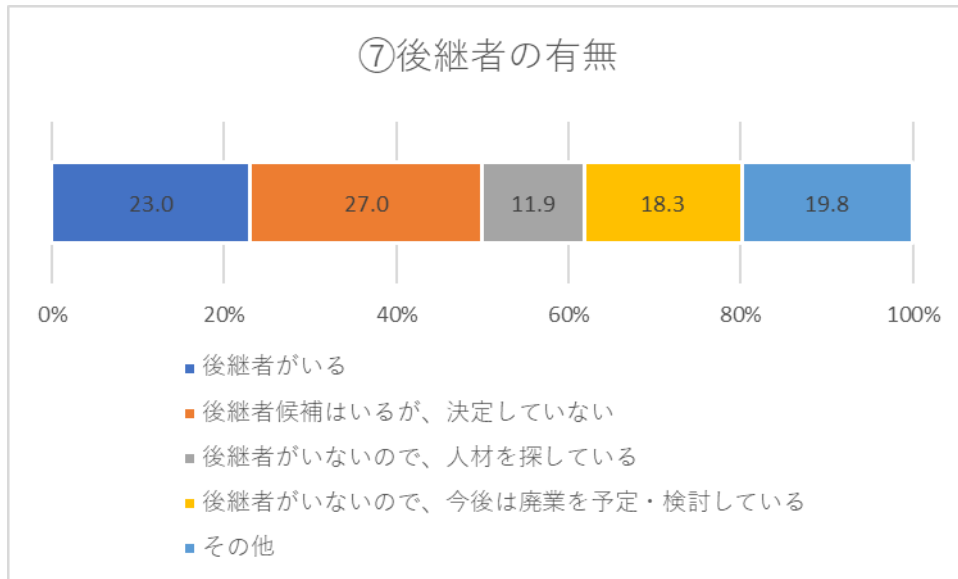
正規従業員数5名以下（56.3%）が最も多く、人数が増えるほど、割合は減少している。



⑦ 後継者の有無

■ 後継者不在のため、廃業を検討している事業所が2割

「後継者がいる」（23.0%）、「後継者候補はいるが、決定していない」（27%）となっており、これらを合わせた「後継者もしくは候補者がいる」（合わせて50%）が5割となっている一方、「後継者がいないので、今後は廃業を予定・検討している」（18.3%）がおおよそ2割となっている。



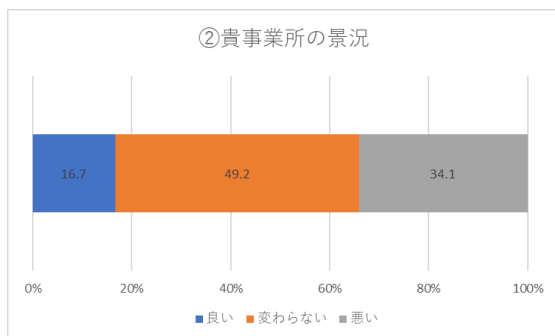
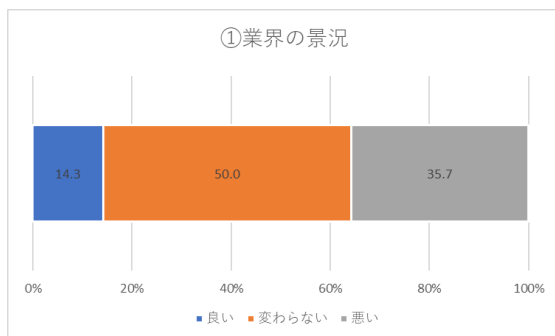
2 経営状況等について

(1) 令和7年の景況感

問1 昨年（令和7年）の景況について、一昨年（令和6年）と比較して、それぞれどのように捉えていますか。（それぞれ1つに○）

- 業界全体、各事業所いずれも「変わらない」や「悪い」が高い
- 業界全体より各事業所の景況感の方が良い傾向

全体では、①業界全体、②各事業所ともに「変わらない」（①50%、②49.2%）が最も高い。次いで①業界全体、②各事業所ともに「悪い」（①35.7%、②34.1%）が高く、「良い」（①14.3%、②16.7%）を大きく上回っている。①業界全体と比較して、②各事業所は「良い」が高く、「悪い」が低いことから、業界全体よりも各事業所の景況感の方が良いことがうかがえる。



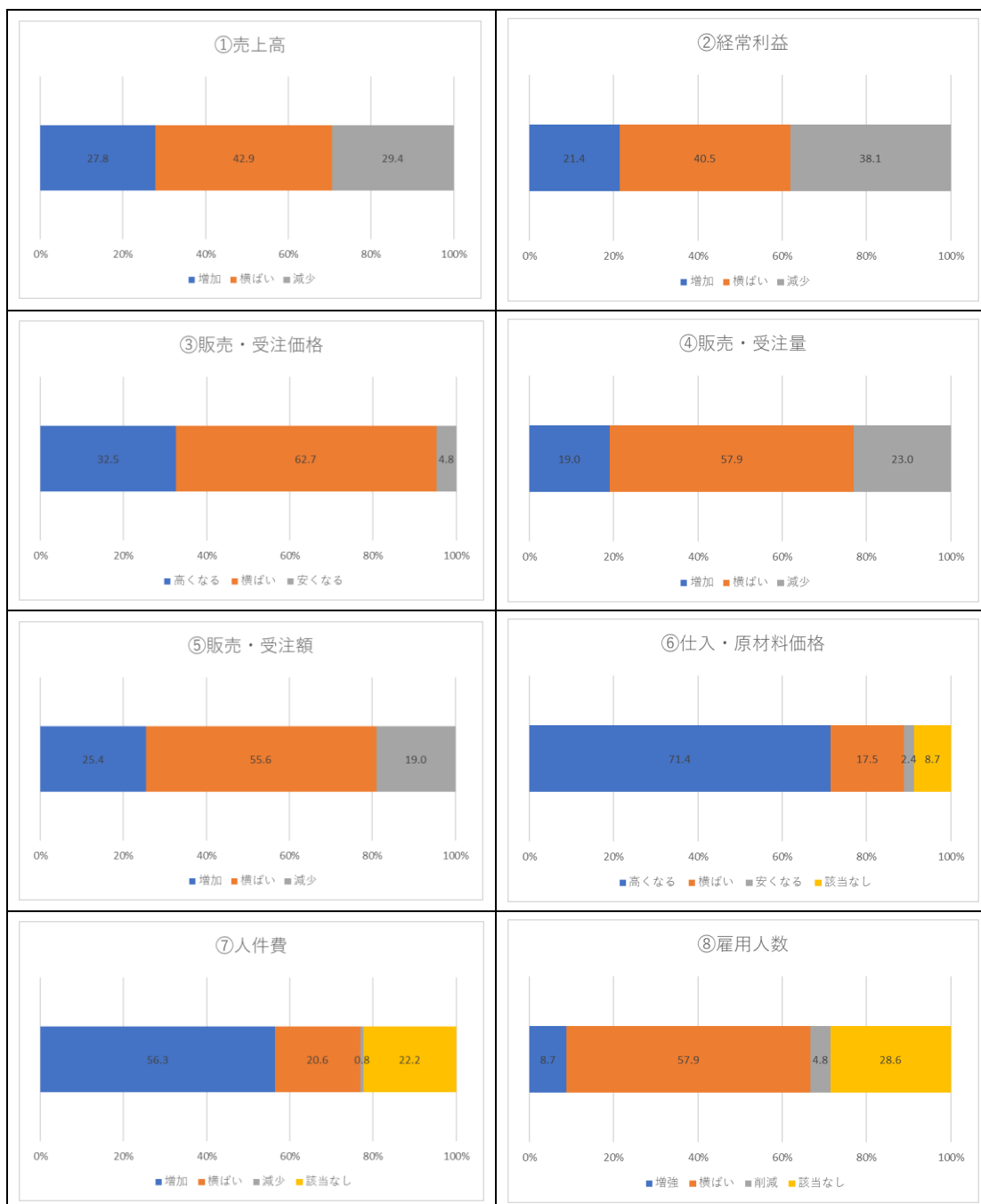
(2) 今後の経営の見通し

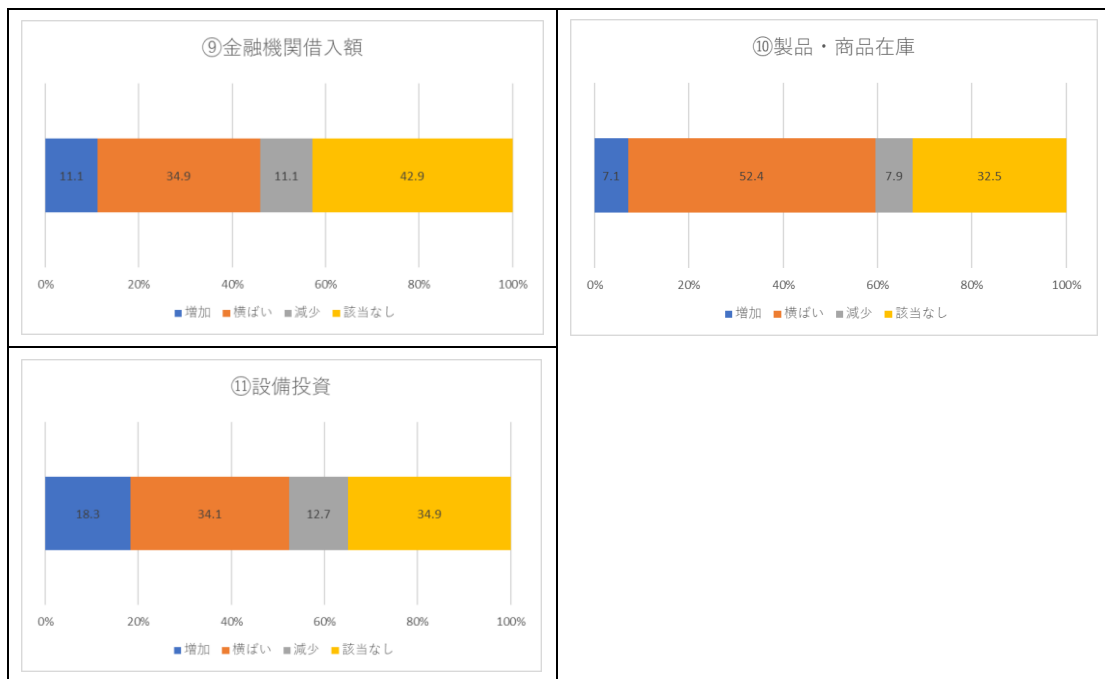
問2 今年（令和8年）の経営について、昨年（令和7年）との比較で、それぞれどのように見通していますか。（それぞれ1つに○）

■ ほとんどの項目は「横ばい」が最も高い

■ 仕入・原材料価格、人件費は高騰傾向

11項目について合わせて見ると、⑥から⑩の「該当なし」を除き、⑥仕入・原材料価格、⑦人件費以外で、「横ばい」が最も高くなっている。⑥仕入・原材料価格は「高くなる」(71.4%)、⑦人件費は「増加」(56.3%)が最も高く、あらゆる業界で価格高騰は止まらないと考えている事業所が多い。





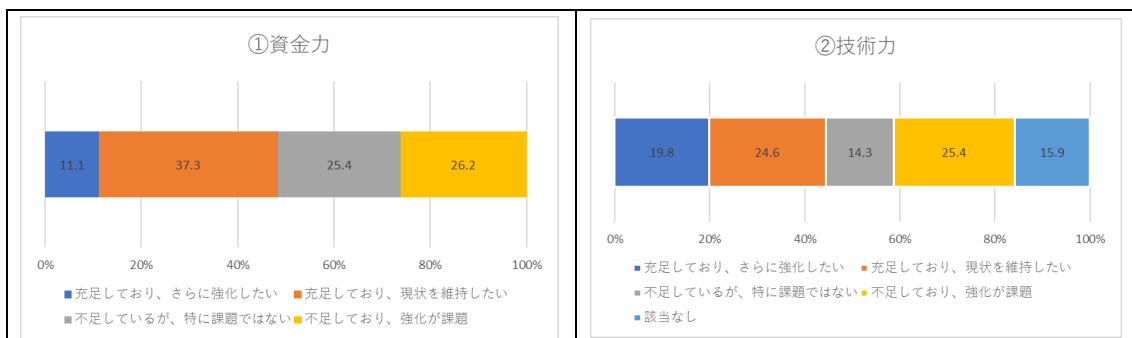
3 経営上の問題・課題について

(1) 経営能力の充足感

問3 以下のそれぞれの項目について、充足していますか（それぞれ1つに○）

- 7項目でばらつきが見られた
- 技術力、開発力、営業・販売力、情報力は、「不足しており強化が課題」が最も多い
- 「技術力」不足の表面化(令和7年度調査比較)

7項目について合わせて見ると、②技術力及び⑥設備・施設以外は、「不足している」が半数を超え、②技術力や③開発力、④営業・販売力、⑤情報力は、「不足しており強化が課題」が最も多い。「技術力」について「不足しており強化が課題」とする声が最も多くなり、高付加価値化を目指す中で、それを裏打ちする技術的な課題に直面していることが推測できる。



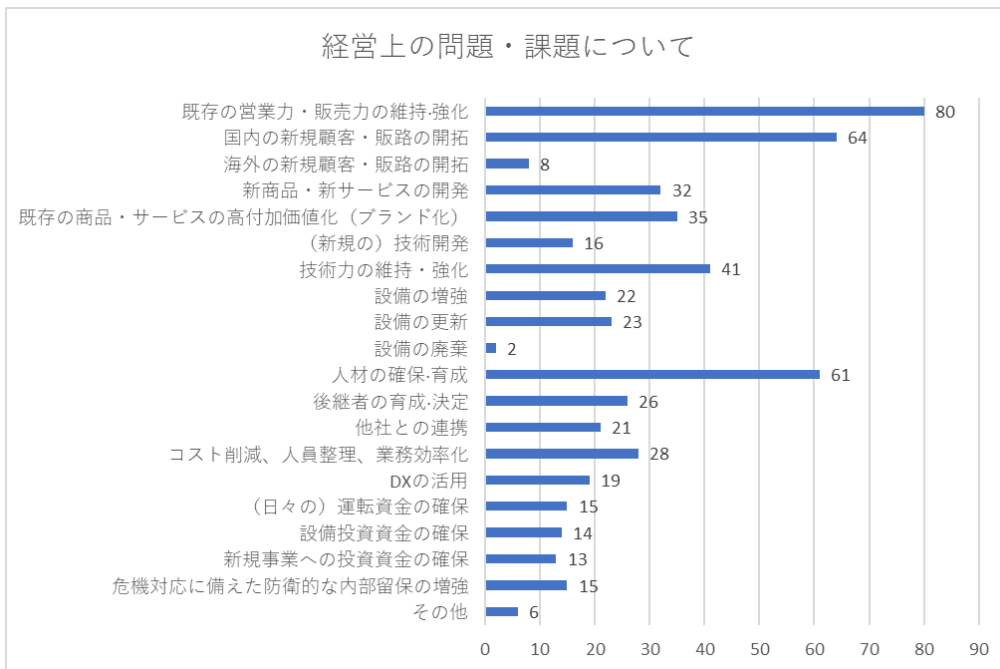


(2) 今後の経営上の問題・課題

問4 現在、もしくは今後の経営上、特に問題・課題となっていることは何ですか。
 必要性や重要性の高い順に、当てはまる番号を太枠にご記入ください。
 (下記1~20のうち、5つまで番号を太枠内にご記入ください)

- 既存の営業力・販売力の維持・強化を最も重要
- 既存の商品・サービスの高付加価値化(ブランド化)が増加傾向

「既存の営業力・販売力の維持・強化が重要」(80事業所)が一番多く、次いで、「国内の新規顧客・販路の開拓」(64事業所)、「人材の確保・育成」(61事業所)の順となっている。今回は前回(令和7年)と同様、「既存の商品・サービスの高付加価値化(ブランド化)」を課題とする事業所が増加傾向。



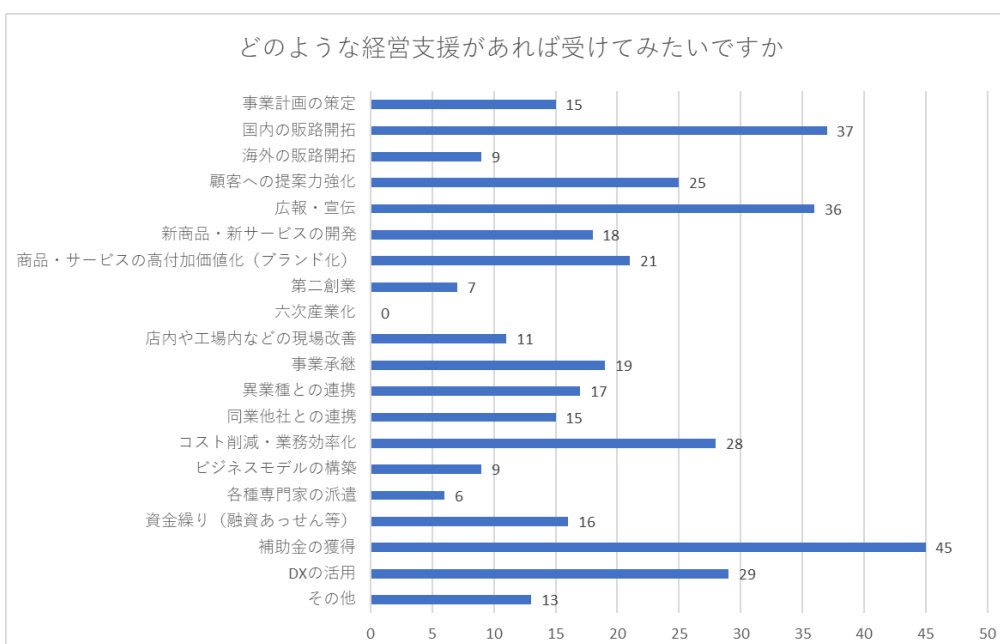
4 経営サポートのニーズについて

(1) 経営サポートのニーズ

問5 どのような経営支援があれば受けてみたいですか。（いくつでも○可）

■ 補助金の獲得に係る経営支援を受けたいが半数近く

「補助金の獲得に係る経営支援を受けたい」（45 事業所）が最も多く、次いで、「国内販路の開拓」（37 事業所）、「広報・宣伝」（36 事業所）の順となっている。

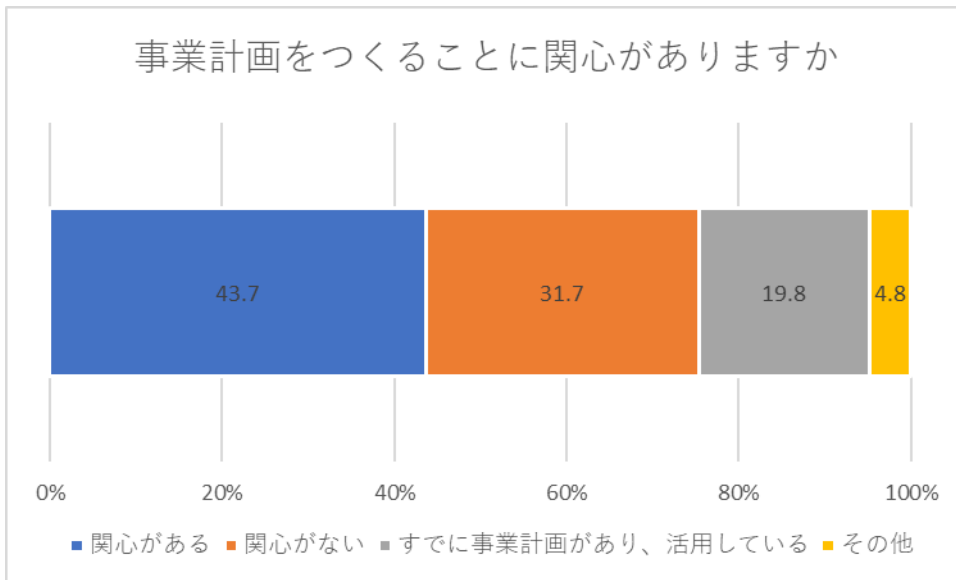


(2) 経営サポートのニーズ

問6 高崎商工会議所では、経営の安定と持続的な発展を図るための「事業計画」づくりを支援しています。このような事業計画をつくることに興味がありますか。(1つに〇)

■ 事業計画をつくることへの関心は高まってきている

事業計画をつくることに「関心がある」(43.7%)が最も多く、次いで、「関心がない」(31.7%)の順となっているが、若干「関心がある」が多い傾向といえる。

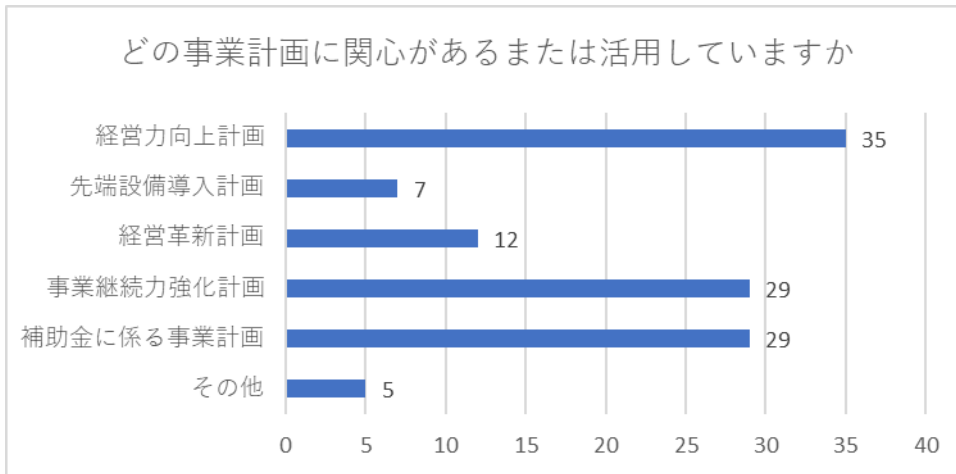


問7 問6において、「1 関心がある」または「3 すでに事業計画があり、活用している」を選択された方はお答えください。特に以下のどの「事業計画」に「関心がある」または「活用」していますか。(複数選択可)

■ 経営力向上計画に関心があるまたは活用しているが最も多い

■ 補助金頼みから「経営力・継続力」の強化へシフト(令和7年度調査比較)

「事業計画に関心があるまたはすでに事業計画があり、活用している」と答えた80事業所のうち、「経営力向上計画に関心があるまたは活用している」、(35事業所)が最も多く、次いで、「事業継続力強化計画に関心があるまたは活用している」、「補助金に係る事業計画に関心があるまたは活用している」(29事業所)の順となっている。



5 高崎商工会議所への意見・要望

高崎商工会議所に、より強化してほしい機能・役割、新たに取り組んでほしいことなどについて、ご意見やご要望がございましたら、ご記入ください。

ご回答いただきましたご意見・ご要望を基に経営支援メニューの強化・改善に取り組んで参ります。

